

VPNの代わりにセキュアにアクセスできるネットワーク環境をEAAで実現 使いたいサービス、必要な情報のみを提供できるため、業務効率も大きく改善



株式会社エイチ・アイ・エス（以下、H.I.S.）東南アジア情報システムグループ グループリーダー 土肥 智之氏、本社情報システム本部 開発グループ インフラチーム 稲垣 創一氏に、アカマイ・テクノロジーのEnterprise Application Access（以下、EAA）を導入した経緯と効果を伺った。

<株式会社エイチ・アイ・エスについて>

日本の海外旅行が自由化された約15年後の1980年、H.I.S.は日本の旅の変革を求め、海外格安航空券の販売からスタート。「もっと多くの方に世界へ飛び出してほしい。いろいろなものを見、たくさんの人と出会ってほしい」といった想い、企業理念をもとに現在までの約38年、既成概念という多くの壁にぶつかりながら幾多の挑戦を繰り返し、旅行業のみならず、ホテル事業、テーマパーク事業など、幅広い事業を手掛けている。

旅行業界とIT

トラベル・エージェントに不可欠なIT

インターネットの普及にともない、オンラインでビジネスを行うトラベル・エージェントが台頭。世界71カ国556拠点を持つ国内有数の総合旅行会社であるH.I.S.としても、ビジネスをグローバルに展開するにあたり、よりITを強化していくことが重点だと考えている。

「当社は国内外の拠点をベースにビジネスを展開していますが、既存の手法だけでは勝ち残っていくのは難しい。やはりITを駆使していくことが鍵になるでしょう。ご存知の通り、トレンドとしては訪日にスポットが当たっています。海外拠点からの送客、各拠点での相互送客を強化していくためにも、いつでもどこからでもアクセスできるインターネットは欠かせません」（土肥氏）。

スピードとセキュリティ対策

インターネットのスピードアップとセキュリティ対策をアカマイが支援

H.I.S.を含め、旅行会社のコンテンツの多くは航空会社やホテルとの外部接続などがあるため、複数のサイトが相互に絡み合う複雑なシステムになっている。そのなかでユーザーに素早い回答を返すにはインターネットの高速化が必須。H.I.S.では、スピードアップに貢献するアプリケーションの開発に加え、アカマイのテクノロジーを駆使することで、Webサイトの高速化を図っている。

個人情報の取り扱い、そしてユーザーが安心して使えるサービスという点で、セキュリティ対策も重要。このセキュリティ対策の部分でも、H.I.S.はアカマイのセキュリティ対策を活用している。

「お客様から求められているのはスピードとセキュリティ。この要望に応えるため、インターネットの高速化とセキュリティの強化という部分でアカマイ・テクノロジーに支援していただいています」（土肥氏）。

ネットワーク環境の課題

拠点ごとに安定したセキュアなネットワーク環境が求められる

71カ国556拠点を有しているH.I.S.では、拠点ごとのネットワーク環境構築に頭を悩ませていた。

「どうしてもネックになってくるのがVPNです。VPNを導入するにあたり、国によってはかなりのコストが必要になります。もちろん、大きな拠点に関してはお客様、スタッフ、拠点同士のやり取り、アプリの利用といったなかでネットワークへのアクセスは頻繁に発生しますから、



Company

株式会社エイチ・アイ・エス

本社 : 〒163-6029 東京都新宿区西新宿6-8-1
新宿オクタワース 29階

資本金 : 11,000百万円
(平成29年10月31日現在)

設立 : 1980年12月

売上高 : 6,060億円
(平成29年10月期連結業績)

従業員数 : 16,932名
(グループ全体 平成29年10月31日現在)

<https://www.his.co.jp/>（企業サイト）

<https://www.his-j.com/>（総合旅行サイト）

Solutions

Enterprise Application Access（EAA）

場所やデバイスを問わず、クラウド上に分散したさまざまな業務アプリケーションへのアクセスを手軽に実現できるソリューション。VPNのようにファイアウォールなどDMZ（非武装地帯）の構成や設定を一切変更することなく導入が可能。ブラウザで利用でき、従業員数の増減によるキャパシティの再設計や冗長化の手間が掛からない。仮想デスクトップが快適に利用できる点も高く評価されている。

Key Impact

- 低コストで簡単、すぐにスタートできる
- 国や拠点を問わず安定したセキュアなネットワーク環境が得られる
- 在宅勤務といった働き方改革に貢献する可能性



安定したセキュアなネットワークは必須。コストをかけてでもVPNを導入するメリットはあります。しかし、小規模な拠点においては、全体のボリュームが小さいため、コストに対するメリットを見出せない。解決方法を模索するなかで、検討するサービスのひとつがEAAでした」（稲垣氏）。

EAA導入の決め手

使い勝手の良さ、手軽さがEAA導入の決め手

拠点ごとのネットワーク環境に差異はあるものの、会社全体としては大きなトラブルなくビジネスに展開できていたため、EAAの導入は緊急を要していなかった。しかし、ある海外の拠点においてネットワークの制限が深刻な状況になりつつあり、風向きが変わってきた。そんなとき、デモを通じてEAAを試用する機会を得た。

「既存製品の多くはUSBがキーになっていたり、データセンターへアクセスするクライアント設定が必要だったり、なにかと簡単にはスタートできない印象でした。しかも、コストがかかります。これに対しEAAは、管理者が行うのは「ユーザーを登録する」「IDとパスワードを発行する」「対象アプリを登録する」のみ。さらに、Webブラウザがあれば当社のサービスすべてにアクセスできます。低コストで簡単、すぐにスタートできるEAAはすごく魅力的でした」（稲垣氏）。

H.I.S.がEAAに下した評価は以下の通り。

- これまでの経験から我々の想定以上に管理コストを低減できる
- 国ごと異なるネットワークサービスを使っていても柔軟に対応できる
- 上記2点のシナジーにより業務の効率化が期待できる

これにより、H.I.S.ではEAAの導入を決定した。

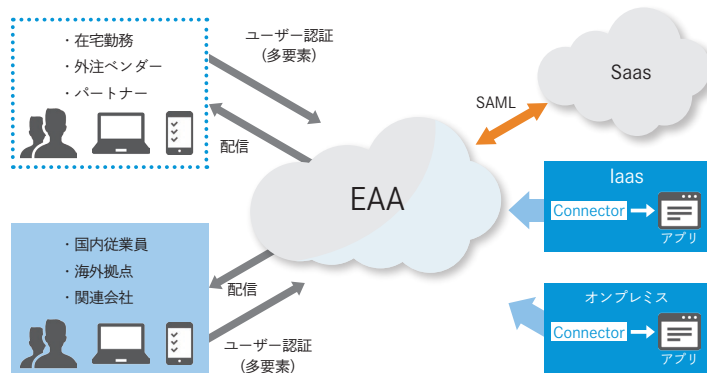


東南アジア情報システムグループ
グループリーダー 土肥 智之氏



本社情報システム本部
開発グループインフラチーム 稲垣 創一氏

株式会社エイチ・アイ・エスにおけるEAA導入概要図



EAAの運用と評価

使いたいサービス、必要な情報のみを提供できる

H.I.S.がアカマイに導入依頼したEAAはすぐに運用がスタート。これまで検討した他のサービスで懸念されていた「準備に時間がかかる」「スピーディーに展開できない」といったことは一切なかった。さらにH.I.S.が驚くのは、利用可能なアプリやサービスを利用者ごと簡単に設定できる点だった。

「ある海外拠点では使えなかった社内サービスが、EAAの導入によって利用できるようになりました。また、小規模の拠点に対しては、社内の環境を提供することが可能になりました。使いたいサービスのみを自由に設定できる、ピンポイントで必要な情報のみを提供できるため、業務効率は大きく改善されたと考えます」（稲垣氏）。

今後のEAA拡張プラン

EAAは外勤営業、移動店舗、展示会でも可能性を感じる

H.I.S.ではEAAに対して、さらに期待が高まっている。海外拠点以外、例えば関係会社などにも限定したサービスを提供することでビジネス効率を高める施策ができると考えている。

「具体的な話ではありませんが、可能性として感じているのは在宅勤務といった働き方改革。さらに、外勤営業、移動店舗、展示会でも活用できそうです。当社としては、今後もEAAを上手に活用して、今まで以上に海外の人々との懸け橋になれればと思っています」（稲垣氏）。



アカマイ・テクノロジーズ合同会社 [英文名: Akamai Technologies GK]

email: info_akamai@akamai.co.jp HP: <https://www.akamai.com/jp/ja>

東京本店 〒104-0031 東京都中央区京橋2-1-3 京橋トラストタワー

Tel: 03-4589-6500

Fax: 03-4589-6501

Akamai®は、場所を問わず、あらゆるデバイスに対して安全かつ高パフォーマンスのユーザー体験を提供できる優れたクラウドプラットフォームをエンタープライズ向けに展開しています。当社のソリューションの中核となるのは、比類なき信頼性とセキュリティ、可視性、専門知識とともに幅広いリーチを実現する Akamai Intelligent Platform™です。またアカマイは、モバイル化が進む世界における接続に関する複雑さを取り除き、24時間体制で消費者の需要をサポートしながら、企業がクラウドを安全に活用できるようにしています。ハイパーコネクテッドワールドでアカマイが革新をいかに促進していくかについて、www.akamai.co.jp および Twitter の @akamai_jp で詳細をご覧ください。

アカマイ・テクノロジーズ合同会社は、1998年に設立された、アカマイ・テクノロジーズ・インク（本社：米国マサチューセッツ州ケンブリッジ、最高経営責任者（CEO）：Tom Leighton【トム・レイトン】、www.akamai.com）が100%出資する日本法人です。アカマイは、世界40箇所に以上オフィスを構え、お客様のエンドユーザーに最高のインターネット体験を提供しています。各拠点の所在地は、<https://www.akamai.com/jp/ja/locations.jsp> でご確認ください。

©2018 Akamai Technologies, Inc. All Rights Reserved. 書面による明示の許可なく本文書の全体もしくは一部を複製することは禁止されています。Akamai および Akamai の波のロゴは登録商標です。本文書で使用されている他の商標の所有権はそれぞれの所有者に帰属します。アカマイは、本刊行物に掲載の情報がその公表時点において正確であると確信しています。ただし、かかる情報は通知なしに変更されることがあります。発行 2018/04